



”特殊ガラスと薄膜で光を科学する”

2018年度上期

(2018年4月1日～2018年9月30日)

決算説明会

岡本硝子株式会社

(JASDAQ 7746)

2018年11月19日

連結財務・業績の概況

- ・損益計算書の状況
- ・貸借対照表の状況
- ・キャッシュフローの状況
- ・売上高・利益の推移
- ・営業利益の増減要因
- ・セグメント別売上高



損益計算書の状況(連結)

(単位:百万円・%)

	a		b		前年度 同期比 b-a	増減 %		
	2017年度 上期累計		2017年度通期				2018年度 上期累計	
	金額	百分比	金額	百分比			金額	百分比
売上高	2,924	100.0	5,790	100.0	3,190	100.0	266	9.1
うち光学事業	2,027	69.3	3,746	64.7	1,995	62.5	△32	△1.6
販売費及び 一般管理費	649	22.2	1,317	22.7	729	22.9	80	12.3
営業利益	88	3.0	212	3.7	190	6.0	102	115.9
経常利益	42	1.4	106	1.8	179	5.6	137	326.2
純利益	33	1.1	83	1.4	100	3.1	67	203.0



貸借対照表の状況(連結)

(単位:百万円)

	a	b	c	c-a 前年度 同期比	c-b 前年度末比
	2017年度上期末	2017年度末	2018年度上期末		
流動資産	2,439	3,313	3,781	1,342	468
固定資産	4,050	3,959	3,861	△189	△98
資産合計	6,489	7,272	7,643	1,154	371
流動負債	1,948	1,902	2,076	128	174
固定負債	3,085	3,185	3,279	194	94
負債合計	5,033	5,087	5,355	322	268
純資産合計	1,455	2,185	2,287	832	102
負債・純資産合計	6,489	7,272	7,643	1,154	371



キャッシュフローの状況(連結)

(単位:百万円)

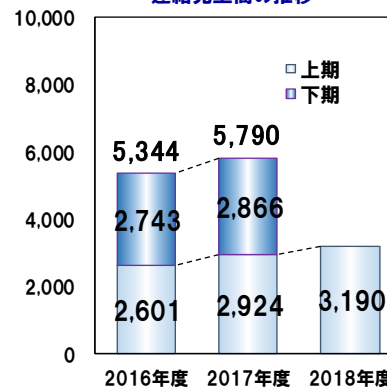
	2017年度上期	2018年度上期	前年度同期比
営業活動による キャッシュフロー	239	154	△85
投資活動による キャッシュフロー	△220	△151	69
財務活動による キャッシュフロー	△235	198	433
現金及び現金同等物 期末残高	352	947	595

売上高・利益の推移(連結)

営業利益 前年度同期比102百万円改善

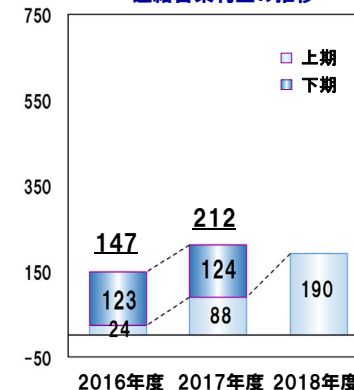
(単位:百万円)

連結売上高の推移



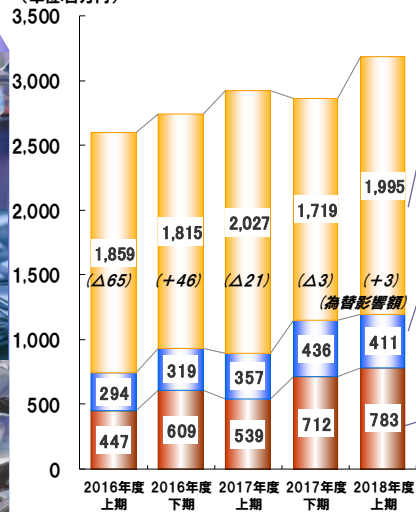
(単位:百万円)

連結営業利益の推移



セグメント別売上高(連結)

(単位:百万円)



光学事業
 売上:1,995百万円 前年度同期比 1.6%減収
 セグメント利益: 448百万円 前年度同期比 13.7%増益
 プロジェクター用反射鏡 数量 1.8%増、売上 4.6%減
 フライアイ 数量 5.6%増、売上 2.6%増

照明事業
 売上:411百万円 前年度同期比 15.0%増収
 セグメント利益: 35百万円 前年度同期比 37百万円増益
 自動車分野の固体光源用レンズの売上高が増加

その他の事業
 売上:783百万円 前年度同期比 45.3%増収
 セグメント損失:39百万円 前年度同期比 28百万円改善
 ガラス容器への加飾蒸着、銀ミラー(Hi-Silver®)、洗濯機用ドア
 ガラス、プリント(ガラス粉末)の売上高が増加

通期業績予想・事業の状況

- ・通期業績予想
- ・主な事業の状況
- ・経営施策の進捗状況
- ・下期事業の状況

業績予想(連結)

(単位:百万円)

	2016年度 実績	2017年度 実績	2018年度	
			5/14予想	11/9予想
売上高	5,344	5,790	6,000	6,140
営業利益	147	212	200	280
経常利益	66	106	100	200
当期純利益	43	83	70	110

(単位:百万円)

	2016年度 実績	2017年度 実績	2018年度	
			5/14予想	11/9予想
有利子負債額*	4,016	3,850	3,900	4,230
自己資本比率	21%	30%	31%	29%

*リース債務を含む

主力事業(既存+新規)

プロジェクター用反射鏡・フライアイレンズ

- ◆ プロジェクター需要は、サッカーワールドカップ等もあり堅調に推移
- ◆ 注力中の固体光源(*)プロジェクター向けレンズ販売拡大

(*) 固体光源:LED、レーザー

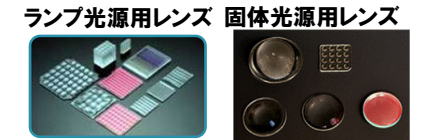
プロジェクター用反射鏡



上期販売数量

前年同期比 2%増

フライアイレンズ



新規事業領域

前年同期比 6%増

主力事業(新規)

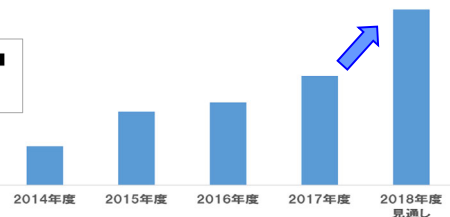
固体光源プロジェクター用レンズ

固体光源用レンズ部品の展開拡大中

- 新規プロジェクターレンズ案件の大半が固体光源プロジェクター用途
- 異形レンズ、両面プレスレンズ、微細レンズ等の引き合いが増加
- お客様との共同開発を実施中

固体光源用プロジェクターレンズ
売上金額推移

レンズ新技術製品(イメージ)



レンズの複雑形状・高精度ニーズに対応すべく、新たな製造方法の開発を進行中

新規事業

機能性薄膜

ガラス容器への加飾蒸着増加により売上拡大

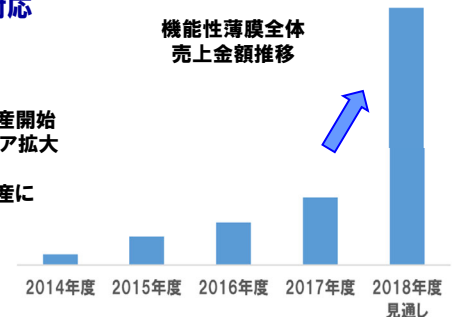
- 加飾蒸着大量生産対応
 - 化粧品用ガラス容器を月産数十万個ベースで受注
- 様々な顧客ニーズに対し試作対応



機能性薄膜全体
売上金額推移

<生産体制>

- 2018年 2月 高田工場(千葉県柏市) 生産開始
- 2018年10月 高田工場 加飾蒸着生産エリア拡大(予定)
- 2019年 7月 新潟岡本硝子 加飾蒸着生産に向けたクリーンルーム設置



新規事業

機能性薄膜

固体光源プロジェクター向け Hi-Silver®の量産・試作案件数が増加

- 高輝度レーザー光源プロジェクター用 蛍光体ホイール量産案件増加
- 顧客他製品への展開も見込む
- 日本・台湾に続き、中国でも特許取得（18年8月）



固体光源化が進む、様々な分野でニーズ増加中

プロジェクター
より明るく、長寿命化

車載センサー
安心安全社会

医療機器
高精度診断

新規事業

ガラスフリット

<太陽電池セル向け> クリーンエネルギーの高効率アウトプット

- (新型) 高変換効率太陽電池セル向け
- ・アルミニウムペースト用フリット商品
⇒ 2018年度中に生産量1,000kg/月超⇒1,500kg/月へ増産に目途
新規溶融炉の増設により、製造リードタイム/コスト低減を図る
- ・銀ペースト用フリット商品
⇒ 2017年度比出荷量2倍の見通し

中国の太陽光発電に関連する補助金政策変更(18年5月)

<固体光源用部品> PiG (Phosphor in Glass : ガラス封止蛍光基板)

- ・プロジェクター、車載部品において製品化開発進行中
- 上期:評価設備の整備完了/下期:開発加速

<電子材料>

- ・5G通信用部品の材料認定取得/製品化へ向けた開発進行中

新規事業

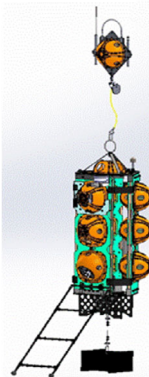
海洋・特機

海底設置型の長期環境モニタリング装置 『フリーフォール型深海探査機江戸っ子1号』納入契約締結

契約先・納入先 国立研究開発法人 海洋研究開発機構様
契約日 平成30年8月27日
契約価格 2億円(消費税別途)
納入時期 平成30年12月(予定)

本契約締結は平成30年10月6日同機構より随意契約情報として公表されております。

長期環境モニタリング装置
...超深海底の生態系を1年間定点観測
画像撮影、水温、塩分濃度等のデータ収集



2018年度経営施策の進捗状況

1) 固体光源用商品、フリット、機能性薄膜など新規事業商品の売上拡大に向けた開発・製造に係る設備投資

- 固体光源用レンズ等に向けた新たな成型プロセスや設備の開発・試作評価
- 固体光源商品等の新規事業商品に対応する評価・測定設備の充実
PiG (Phosphor in Glass : ガラス封止蛍光基板)、5G通信用部品向けフリット、固体光源プロジェクター向け、車載センサー向けHi-Silver®等の開発加速
- 量産規模拡大に対応する生産設備の増強

2) 売上拡大、コスト低減を実現するグループ全体での柔軟で効率的な生産体制の構築

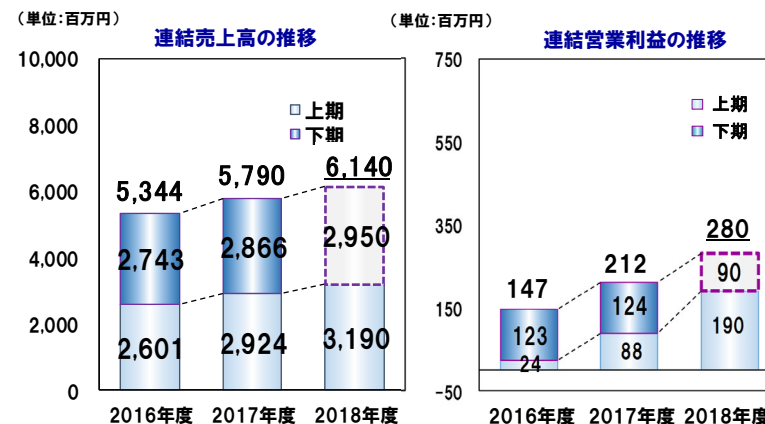
- 加飾蒸着生産体制構築 -高田(柏)・新潟-
高田工場加飾蒸着生産エリア拡大(2018年10月稼働)
新潟工場クリーンルーム設置(2019年7月予定)

3) 間接業務の業務効率化に向け新たなシステム導入

- 2018年度下期 人事・給与系システム導入・本運用準備中
- 引き続き 会計、販売、生産系システムを2019年度中に順次導入

売上高・利益の推移(連結)

下期 19年度以降に向けた体制作りを推進



下期事業の状況

19年度以降に向けた体制作りを推進

- ・中期計画に基づく設備投資、開発案件の実行
- ・ITシステム導入、工場インフラ設備経年に伴う修繕対応の実行 等

<個別事業>

- ・プロジェクター用反射鏡・フライアイレンズ
需要の季節性変動により上期比減少となるが年間当初予想水準を見込む
固体光源向けは堅調
- ・機能性薄膜
化粧品用ガラス容器加飾蒸着 生産拡大
- ・海洋・特機
江戸っ子1号(フリーフォール型深海探査機) 案件の対応
- ・フリット
固体光源向け、5G通信用向け開発加速
中国における太陽光発電に関連する政策変更(18年5月末)による
太陽光パネル市場の動向に対応した開発商品の展開



本日は当社説明会へ
ご出席いただきありがとうございました。
今後ともご指導とご鞭撻を賜りますよう
お願い申し上げます。

岡本硝子株式会社

業績予想(連結)

再掲

(単位:百万円)

	2016年度 実績	2017年度 実績	2018年度	
			5/14予想	11/9予想
売上高	5,344	5,790	6,000	6,140
営業利益	147	212	200	280
経常利益	66	106	100	200
当期純利益	43	83	70	110

(単位:百万円)

	2016年度 実績	2017年度 実績	2018年度	
			5/14予想	11/9予想
有利子負債額*	4,016	3,850	3,900	4,230
自己資本比率	21%	30%	31%	29%

*リース債務を含む